

住まいは、生き方

チルチンびと

季刊
I22
2025
冬

特集

火を楽しむ 上質な時

論 火と住宅—森本英裕／堀部安嗣、宗像秀展、独楽蔵

追悼 建築家・藤井章さん

薪棚秀作集

保存版

薪棚づくり完全図解

連載
角田光代
「猫の住む家」
新連載
本橋靖昭
「菌ちゃん畑」



チルチンびとの暮らし
つばめ工房「冬を織る」
タカハシユキ「冬の食養生」

埼玉県草加市
「ミノリテラス草加」
小嶋直×千葉工務店×東武鉄道

自然素材の家づくり

『チルチンびと「地域主義工務店」の会』

千葉県四街道市 N邸

炎と自然を愛する 夢の暮らし

設計=佐野一広 施工=(株)グッドリビング どんぐりの家 写真=佐々木慧 文=林菜穂子

自然素材の大空間に薪ストーブの炎。
家族がのびのび過ごせるようにと
想いを込めた家は
心からのくつろぎを創出する。

グッドリビング
どんぐりの家

1 板張りと漆喰のコントラスト、大きく出した軒が印象的な外観。 2~4 庭木や芝に彩られた庭。
5・6 冬に備え薪をストック。薪割りは夫婦で手分けして行う。 7 薪ストーブは「ドブレ640」。
8・9 薪ストーブをつけると、自然と集う姉妹。

以前はマンションに住んでいたNさん一家。暮らしを見直したのは、コロナ禍がきっかけだった。「長女は『公園に住みたい』と言うほど植物や虫が大好きなのですが、自肃生活でマンションに閉じこもると自然との接点がなくなってしまったんです。私も戸建てでのびのび暮らしたいと思つたので、マンション派だった夫を説得し、家を建てることを決めました」(奥さん)。自分たちの家を持つと想像したときに奥さんの頭に浮かんだのは、子どもの頃に読ん

絵本で見た憧れの暮らしを

市街地の喧騒から離れた緑が多くのどかな住宅街。庭と一体になつた佇まいが印象的なN邸を訪ねると、夫妻と仲よし姉妹が笑顔で迎えてくれた。玄関を入れると、タイル貼りの通り土間が左右に伸び、その一隅に薪ストーブ。上がり框の先には、杉板の床が美しいリビング・ダイニングがゆつたり広がる。南向きの大開口はウッドデッキと庭につながり、室内にいながら自然に包まれた気分になる。

以前はマンションに住んでいたNさん一家。暮らしを見直したのは、コロナ禍がきっかけだった。「長女は『公園



1 リビングの床には、茨城県の八溝山で採れた良質なスギを使用。2 南向きの大窓口で室内と外が心地よくつながる。3 階段の横にはご主人の希望で小上がりの和室を。4 吹き抜けから明るい光が落ちるリビング。春になると窓外にサクラが咲く。5・6 9歳の莉子ちゃんと7歳の杏子ちゃん。二人のワンピースは奥さんの手づくりで、生地は自宅で草木染めした。

グッドリビング どんぐりの家

してたまらない時間になった。「設計の佐野さんもともとい方で、建築に夢中だった学生時代に戻った気分でお話をさせていただきました。構造や素材の面でプロフェッショナルな提案をしてくださって、感謝しています」(奥さん)。

その横で同社の営業・塚本さんは「Nさん夫妻が理想の家のスケッチを描いて見せてくださったのですが、センス抜群で、絶対に素敵なお家になると確信しました」と頷く。

この家に暮らして、4年弱。「マンションの時は『おうちはつまんない。どこか行きた』が口ぐせだった娘たちが、飽きずに庭や家中で遊ぶようになつてびっくり。薪ストーブは想像以上に大活躍で、1台で家中隅々まで暖かいです」と話す奥さんに、「夫婦とも仕事が忙しいけれど、家に帰ると心からほつとします。すっかり戸建て派に転向しました」と微笑むご主人。姉妹は「おうちには楽しいことがいっぱい。お庭にはカマキリもトカゲも来るし、薪ストーブの前でみんなで話すのも大好き」と笑顔で教えてくれた。

光と自然と炎を感じる
吹き抜けリビングに
家族が集う

理想の家を建てるため工務店を探したNさん夫妻は、ある日『チルチンびと』98号を見て、グッドリビングの家に一目惚れした。「薪ストーブが引き立つ美しい空間に目を奪われ、自然素材へのこだわりに共感しました。依頼の決め手は、営業の塚本忠さんをはじめ社員の方がとても親切なことと、最初に見ていたいただいた通り土間の案が素晴らしいことです」(ご主人)。

コロナ禍真っ只中の家づくりとなつたが、グッドリビングとの打ち合わせはわくわく

だ絵本の挿絵だった。「家族が薪ストーブを囲んでいて、やかんから湯気がぼんぼん出ているシーンが大好きだったんです。あんな暮らし自分が判明して、『じゃあ入れよう』となりました」(奥さん)。夫妻はともに建築学科出身だが、「新建材はなるべく使いたくない。自然素材の家がいい」という思いも共にしていたという。

家族の心を解放する住まい



グッドリビング
どんぐりの家

1 「ピアノはゆるく楽しく練習中です」(奥さん)。2・3階の子どもたちの空間。将来2部屋に区切ることもできる。4吹き抜けを見下ろす位置のカウンターは奥さんが趣味の洋裁を楽しむスペース。「作業に集中しながら家族の気配を感じられます」。



自分のペースで
過ごしながら
ほどよくつながる

5 家事効率を熟考し、通り土間からランドリー、ファミリークローゼット、洗面脱衣室、浴室をつなげた。6 キッチンの先には通り土間。7 キッチン裏に家事動線を収めてあり、リビング側は常にすっきり。8 Nさん一家と営業の塚本さん(右)。



所在地：千葉県四街道市
家族構成：夫婦+子ども2人
敷地面積：225.54m²
延床面積：134.95m²
(1階74.52m² 2階60.43m²)
竣工：2021年3月
(工期2020年10月～2021年3月)
設計：佐野建築設計室
佐野一広
(☎047-343-0118)
施工：
(株)グッドリビング どんぐりの家
構造形式：木造軸組工法
主な外部仕上げ：
屋根=ガルバリウム鋼板
立平葺き
軒天井=珪酸カルシウム
目透かし張り
外壁=ガルバリウム
鋼板角波A型、
無機質系塗り壁サンウォール
(漆喰)、ヒノキ板
天然保護塗装仕上げ
主な内部仕上げ：
天井=石膏ボード厚12.5mm
下地珪藻土(ナノウォール)、
スギ無垢ボード(構造用パネル)
壁=石膏ボード厚12.5mm
下地珪藻土仕上げ
(ナノウォール)
床=スギ天然木フローリング

国産木材使用量
(株)グッドリビング
どんぐりの家： 19m³
一般工務店： 8.52m³

二酸化炭素固定量
(株)グッドリビング
どんぐりの家： 11.157t-CO₂
一般工務店： 5.01t-CO₂

イラスト=本橋靖昭

